

# 可児市市立図書館 個別施設計画

令和2年12月

可児市市民部図書館

# 目次

1	目的と位置づけ	1
(1)	目的	1
(2)	位置づけ	1
2	計画期間	1
3	対象施設	1
4	施設の現状と課題	1
(1)	現状	2
(2)	課題	3
5	今後の方向性	3
6	施設の劣化状況	4
7	施設の日常点検	4
8	対策の優先順位の考え方	4
9	対策内容と実施時期	4

## 1 目的と位置づけ

### (1) 目的

本計画は、可児市公共施設等マネジメント基本方針（以下「基本方針」という。）および可児市公共施設等マネジメント基本計画（以下「基本計画」という。）に基づき、個別施設ごとの具体的な対応方針を定める計画として、点検・診断により得られた個別施設の状態や、維持管理・更新等に係る対策の優先順位の考え方、対策の内容や実施時期を定め、長期的な視点から財政負担の軽減・平準化を図りながら老朽化対策等に取り組むために定めます。

### (2) 位置づけ

本計画は国のインフラ長寿命化基本計画（平成 25 年 11 月「インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議」で決定）に基づく個別施設計画として位置づけます。

また、可児市公共施設等総合管理計画（基本方針及び基本計画）の下位計画に位置づけます。

## 2 計画期間

本計画の期間は、令和 3 年度（2021 年度）から令和 12 年度（2030 年度）までの 10 年間とします。計画の達成状況を踏まえて、本計画は 5 年を目安に見直しを行うものとします。

なお、計画期間内であっても、社会情勢による状況の変化、事業の進捗状況等に応じ計画の見直しを行うこととします。

## 3 対象施設

本計画の対象施設は、以下の施設とします。

番号	施設名	所在地	敷地面積	延床面積
1	図書館本館	広見 570-5	1977.42 m <sup>2</sup>	1,527.97 m <sup>2</sup>
2	図書館帷子分館	東帷子 1011	地区センター敷地	449.19 m <sup>2</sup>

## 4 施設の現状と課題

### (1) 現状

#### ア 施設概要（ソフト面）

施設の設置目的	資料及び情報を収集、整理、保存し市民の利用に供し、その教養、調査研究、レクリエーション等に資するとともに、様々なサービスや情報提供を行うことにより、地域の課題解決や地域の振興を図ることを目的とする。
施設の構成	開架図書閲覧室（一般コーナー、ヤング・アダルトコーナー、CD/DVD コーナー、インターネット端末）、児童図書閲覧室（児童コーナー、絵本コーナー）、参考資料閲覧室（郷土資料）、会議室、学習室、事務室、閉架書庫、展示コーナー、新聞雑誌コーナー、自動車文庫（移動図書館車）

施設で行われる事務サービスの内容	<p>利用者への図書等の適切な貸出やレファレンスサービスの他、ボランティアの協力による読み聞かせや読書推進のための講座や講演会の実施。</p> <p>◎開館時間（本館）午前10時～午後7時（土・日曜日、祝日は午後5時まで） *7月21日～8月28日は午前9時30分開館 （分館）午前9時～午後5時</p> <p>◎休館日 月曜日、毎月最終金曜日、12月28日～翌年の1月4日</p>
------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

#### イ 施設概要（ハード面）

施設名称	建築年度	構造	階層数	屋根	外壁	耐震状況
図書館本館	S59	RC	3	防水	タイル	新耐震
図書館帷子分館	H10	S	1	金属・防水	ECP	新耐震

※構造 RC=鉄筋コンクリート造 S=鉄骨造

※外壁 ECP=押出成形セメント板

#### ウ 施設の利用状況

##### 利用者数の推移

##### 来館者数（人）

年度	本館	帷子分館	桜ヶ丘分館	合計
H20	141,483	86,848	64,132	292,463
H21	144,491	86,880	66,530	297,901
H22	142,442	84,754	67,196	294,392
H23	139,741	82,890	71,776	294,407
H24	135,880	76,955	64,317	277,152
H25	138,643	72,839	60,902	272,384
H26	132,313	71,661	57,655	261,629
H27	133,532	67,097	56,445	257,074
H28	130,512	67,348	56,872	254,732
H29	109,625	66,426	59,642	235,693
H30	107,602	68,119	60,097	235,818
R1	110,221	69,176	56,962	236,359

平成29年度から令和元年度は、ほぼ横ばいと見ることもできますが、全体としては減少傾向にあり、最近の10年間で6万人以上（約2割）の減少となっています。

## エ その他

### (7) 施設の防災面の視点

災害時の優先電話設置場所のひとつに図書館が指定されています。

## (2) 課題

### ○施設機能

60歳以上の利用者が約30%を占めており、61～70歳の利用者が最も多くなっています。更新に際しては高齢者も含めた、全ての市民が利用しやすい施設の更新(建替え)を考えていく必要があります。

### ○移動図書館

移動図書館は、図書館全体に占める利用者の割合は低い(延べ利用者数構成比:約3%)ですが、移動手段がない高齢者の利用など、一定の役割を担っており、今後のあり方を検討する必要があります。

### ○駐車場不足

図書館本館の駐車場は不足しており、借地をすることで対応していますが、分散配置となっています。(5か所合計 59台)

## 5 今後の方向性

### ○図書館本館

利用者のニーズは、「貸出中心」の施設から「滞在できる」施設へと変化しています。しかし、現在の図書館本館はワンフロアの面積が小さいため、書架の間隔が狭く複数階に分かれており、ゆっくり滞在できる施設にはなっていません。また駐車場も狭く分散していることから、訪れやすさの面でも課題があります。建物の耐用年数も踏まえて、今後のありかたを検討します。

### ○図書館分館

図書館帷子分館、図書館桜ヶ丘分館については、それぞれ市の西部、東部地域の市民利用が多いため、現状を維持することとします。

### ○移動図書館

図書館分館が設置されていない時期に、多くの市民に本に親しんでいただくことを目的として導入されたものであるため、車両の老朽化に伴う更新は行いません。

## 6 施設の劣化状況

建物内部、屋根、外壁について部位ごとの目視による確認を基本とし、部分的に触手及び打診調査を実施しました。

### ○建物の劣化状況の評価の定義

劣化度	評価基準
A	概ね良好。特に修繕上問題となる事項なし。
B	部分的な劣化が見られる。経過観察または修繕対応。
C	広範囲に劣化が見られる。5年以内に改修が必要。
D	劣化の程度が大きく、早急な対応が必要。
—	点検対象外。

### ○施設別項目別劣化状況

名称	劣化状況					
	屋根	外壁	内部	電気	給排水	空調
図書館本館	B	B	B	B	B	B
図書館帷子分館	B	B	B	B	B	B

## 7 施設の日常点検

施設利用者の安全確保、施設の予防保全による長寿命化のため、施設の日常点検（自主点検、法令点検、定期点検）を行います。点検において確認された不具合等については、履歴として記録し、以後に、修繕、改修を行う際や個別施設計画を見直す際に、考慮します。

## 8 対策の優先順位の考え方

利用者の安全性確保に係る改修を最優先とし、個別施設の劣化状況、各施設の利用状況、今後の方向性等を勘案し、総合的に判断します。

## 9 対策内容と実施時期

対象施設における今後の対策時期、内容、費用を算出しました。

費用は本計画策定時点における概算であり、工事発注時における詳細な設計や今後の災害発生等の状況、社会情勢の変化により、変動が生じる場合があります。

対策時期についても、本市の財政状況等により、変動が生じる場合があります。

【図書館本館】

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容										空調	
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65,575	
年度計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65,575	65,575

【図書館帷子分館】

(単位：千円)

	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	計
対策内容		外壁					電気		屋根		
費用	0	10,000	0	0	0	0	8,572	0	16,976	0	
年度計	0	10,000	0	0	0	0	8,572	0	16,976	0	35,548